

令和 2 年度学校評価

評価 1・・・日程、内容等の変更が必要
2・・・改善・工夫が必要
3・・・実態に応じて一部変更する
4・・・ねらいが達成できた。次年度も継続する。

那珂川町立馬頭中学校

教育目標	努 力 点	具 体 策	今年度の評価	反 省 点	来年度に向けた改善点	学校関係者評価・第三者評価でいただいた意見等
思いやりのある生徒（温かく）	(1)豊かな人間関係を築く指導の充実	① 組織的な生徒指導体制の確立を図ったか。	(3)	①生徒指導案件について、生徒指導主事が情報を聞き、管理職に報告をして、指導にあたるという体制づくりはできた。	①役割分担をその都度考え、効果的な指導ができるようにする。	・体制や基盤を作り、実施できたことは評価できる。 ・反省点を踏まえ、教職員、生徒の様々な関係性がさらに高められることを望む。
		② 個に応じた生徒指導を実践するための教員間の情報共有を行ったか。	(2)	②学年を超えた情報共有が不十分だった。	②時間割の中に生徒指導部会を設定する。（火曜日の生徒指導打ち合わせは、緊急性のあるもののみにする）	
		③ 学年間・縦割り班・教職員との交流（朝会時の「コミュニケーションタイム」の充実）が図られたか。	(3)	③コロナ禍で回数は少ないが、教職員が参加するコミュニケーションタイムを2回実施できた。しかし、担当が不明確（生徒会？特活？代表委員顧問？）だったり、教員主導だったりしたのが反省点である。	③生徒集会の年計を作成し、各委員会に担当を割り振ることで、生徒の自発的な活動を促す。	
	(2)居心地の良さを感ぜられる学級経営	④ 良好な人間関係を築くための学級活動・生徒会活動の活性化が図られたか。	(4)	④行事の運営、部活動や委員会を単位としたあいさつ運動など、昨年度よりも進歩が見られた。	⑤年度当初に細かいことまで議論し、統一した基準を作成する。	・今年度はいろいろな活動に支障を来す年であったが、工夫を凝らした運営が図られている。 ・問題解決能力や相互理解が深まるような指導に期待する。
		⑤ 規範意識の高揚とルールの徹底が図られたか。	(2)	⑤髪型（刈上げは？編み込みは？おだんごは？）やかばんの置き場所（ロッカーの中？ロッカーの上？机のわき？）などで統一が図れず、学年間でずれが生じた。	⑥問題解決能力や自己指導能力の育成をはかれるようにする。自分で考えさせる時間を確保する。	
		⑥ 互いに認め合い、問題を自ら解決する力の育成が図られたか。	(2)	⑥人間関係のトラブルを自分たちで解決できず、教員が介入するケースが多かった。		
	(3)道徳教育・人権教育の充実	⑦ 全領域での道徳教育の明確化と指導の充実(多くの教員が関わる道徳授業の実践)が図られたか。	(2)	⑦ほぼ担任が授業を実践した。	⑦年計で担当を明確化する。	・道徳教育の基本である「挨拶」は素晴らしく、本校全体をたたえたい。 ・人権問題、ジェンダーに乙いては幅広い知識や情報を収集して教育してもらいたい。
		⑧ 人権教育の充実（あいさつ運動、生徒会活動、ボランティア活動）が図られたか。	(3)	⑧あいさつ運動の充実は図れたが、生徒の人権意識が高揚するような行事や取り組みは不十分であった。	⑧行事や活動を設定する。	
		⑨ 学校行事等を通した道徳的実践力の育成を図ったか。	(4)	⑨学校行事を通して、相手の気持ちを考え、行動できる生徒が増えた。		
進んで学習する生徒（賢く）	(1)確かな学力の向上を図る学業指導の充実	① 体験を重視した場の設定やICT機器を活用した授業改善を行い、生徒が主体的に学習に取り組む授業づくりの実践を行ったか。	(3)	①意欲的に取り組む生徒が増えてきたが、ICT機器の活用には教科によって偏りがあった。	①環境整備に努める。	・ICTは不可欠な時代になっているので、ベネフィットやリスクについても配慮しながら積極的に取り入れてもらいたい。 ・T.Tは、教育の質の高さを求めることや、レベルの一定化が図れる術として適切だったと思われる。 ・ケーブルテレビ等で情報発信が工夫されていると思う。
		② コミュニケーションスキルを向上させ、学びに向かう集団づくりの実践を行ったか。	(2)	②コロナ禍においては難しかった。	②タブレットを活用したコミュニケーションスキル向上の取組を図る。	
		③ NIEタイムの充実や家庭学習の習慣化を図り、思考力や表現力を高める指導の工夫を図ったか。	(3)	③家庭学習の習慣化を図ることができたが、それにより思考力、表現力を高めるまでには至らなかった。	③案：新聞記事をもとにグループ討論を行う。（毎週の学習の時間を活用する）	
	(2)自分の生き方を考える教育の充実	④ 数学科の学力向上に向けた全学年、全授業ITの実施を行ったか	(3)	④TT実施により、生徒一人一人と関わることができ、質の高い指導が行えた。	④さらに効果的なTT授業の持ち方を研修する。（授業形態等の工夫）	・コロナ禍での体験学習が十分でなかったことは理解できる。今後のコロナ状況は未知なところがあるが、前向きな取り組みをお願いしたい。 ・生徒達がかわいそうだと思っていた。
		⑤ キャリアプランニング能力の育成を図ったか。	(2)	コロナ禍により、体験的な学びができず、不十分だった。	体験的な学びを増やしていくとよい。	
		⑥ 関係機関との連携を図った校内支援体制の充実に努めたか。	(3)			
	(3)個に応じた指導方法の工夫・改善	⑦ 効果的な交流教育の場の設定を図ったか。	(3)	⑦個に応じた適切な支援ができた。個別の支援計画を作成し、担当教員で共通理解を図った。	⑦支援が必要な生徒の把握に努める。人的支援を望めるとよい。	・成果が上がった様子が窺え、喜ばしく望ましい結果と言える。
		⑧ 合理的配慮の提供を行ったか。	(3)			
健康でたくましい生徒（強く）	(1)健康教育の充実	① 健康で安全な生活態度の育成に努めたか。	(3)	①コロナウイルス対策の意識に波があった。（意識がゆるくなってしまった時があった）	①対策の声がけを継続して行っていく。	・コロナ禍であっても大過なく過ごせたことは十分評価できる。 ・フードロスや社会問題になっているので、工夫や改善に取り組んでもらいたい。 ・コロナ対策等、子供たちの意識の向上が見られていると思う。
		② 心の健康を重視して不登校生徒減少への取組の充実を図ったか。	(4)	③残飯が多いクラスがあった。	②来年度も継続して、個に応じた対応・早めの対応を継続していく。	
		③ 食と健康教育の充実を図ったか。	(3)		③配膳方法を工夫する。	
	(2)体力向上の推進	④ 体育の授業における、個に応じた運動量の確保を行ったか。	(4)	⑥コロナウイルスの影響でほとんど実施できなかった。		・コロナ禍での推進は、困難であったことは理解できる。今後のコロナ状況は未知なところはあるが、前向きな取り組みをお願いする。 ・スポーツ庁ホームページからの情報も参考にした取り組みを望む。 ・休校等で部活動の大会が実施できず、心のメンテナンスがどうなっているか心配であった。
		⑤ 新体力テストの分析と重点指導（持久力の向上）を行ったか。	(2)	⑦途中で参加しなくなってしまう生徒が多数いた。	⑦冬季でも参加したいと思える内容を考える。	
		⑥ 教科と部活動、部活動同士の連携の強化に努めたか。	(2)	⑦女子の参加率が低い。	⑦体育委員会等を活用し、全校生が関われる体力向上プランを考える。	
	(3)安心・安全な学校づくりの推進	⑦ 毎朝の体力向上トレーニングの活動強化に努めたか。	(3)	⑦全校生が関われる取り組みが必要。		・ハード、ソフトの両側面から推し量り、対策を講じてもらいたい。
		⑧ 教職員の危機管理意識の日常化に努めたか。	(4)			
		⑨ 生徒の安全意識を高める日常指導を行ったか。	(4)	⑩本当に危険な箇所が点検できていない可能性が払拭できないので点検の方法を検討する必要がある。	⑩点検箇所、項目の点検。	
		⑩ 定期点検・随時点検の強化を行ったか。	(3)			

	努 力 点	具 体 策	今年度の評価	反 省 点	来年度に向けた改善点	学校関係者評価・第三者評価でいただいた意見等
地域とともにある学校運営の推進	(1)創意ある学校運営の推進	① 学校運営の充実を図ったか。	(3)	・様々な制限がある中で、できる活動を工夫して行った。	・生徒が充実感をもって取り組めるよう、一層工夫した活動を計画する。	・各種の制限下、でき得る工夫をした活動は評価できる。 ・目標がややファジーな表現に感じる。鮮明性を持たせた目標、活動内容に期待したい。
		② 調和のとれた教育課程の編成に努めたか。	(3)			
	(2)家庭・地域と協調・連携した学校運営の推進	① 家庭と連携した生活・学習習慣の定着を図ったか。	(3)	・各種たよりやホームページで学校の様子を発信し、保護者の理解と協力を得られた。	・継続していく。	・各種便りやホームページでの報告内容が充実していて分かり易い。また、ホームページの更新にもスピード感があり目を見張るものがある。 ・継続的な取り組みに期待する。 ・地域の方とのコミュニケーションの場が少なかったことに今後の不安を感じる。
		② 地域人材を活用した活動の推進に努めたか。	(2)			
	(3)幼小中連携教育の推進	③ 小中高の連携を図った活動の工夫を図ったか。	(2)	・コロナ禍で様々な制限があったが、各学年とも活動を工夫し、地域・他校種との交流や人材の活用に心がけた。	・世の中の状況を考慮した上で、可能な限り地域と連携した活動を推進し、生徒の郷土愛を一層深める。	・部会を中心とした意欲的な取り組みは評価できる。 ・さらなる向上を目指してもらいたい。
		① 小中の連携体制の協力体制の充実を図ったか。	(3)	・学力向上推進部会を中心とした授業参観など、学習面での交流は実施できた。	・指定がなくても授業研究会への参加などは継続していく。 ・出前授業のような形で、小中の交流を図る。（コロナ禍が収束すればだが・・・）	
		② 小・中連携に関する共通理解及び連携の推進に努めたか。	(3)	・他校種と連携した行事などは今年度は実施は無理であった。		